

令和 8(2026)年度 総合型選抜Ⅱ
芸術工学部 芸術工学科 メディアデザインコース

実 技

【注意事項】

1. 問題冊子は指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子はこの表紙を含めて 2 枚、解答用台紙（B4 判）は 1 枚、制作意図用解答紙は 1 枚、描画用解答紙（A3 判）は 1 枚、論述用解答紙は 2 枚である。
3. 配付物は、以下のとおりである。制作問題は、配付物のみ使用可とする。筆記問題は、配付物以外の筆記用具を使用してよい。

問題冊子	この表紙を含めて 2 枚
解答用台紙（B4 判）	1 枚
制作意図用解答紙	1 枚
描画用解答紙（A3 判）	1 枚
論述用解答紙	2 枚
鉛筆	2 本（2B、3B 各 1 本）
消しゴム	1 個
鉛筆削り	1 個
制作材料	1 セット
定規	1 本
はさみ	1 本
カッターナイフ	1 本
カッターナイフ台	1 枚
下書き用紙（上質紙・B4 判）	1 枚

4. 「解答始め」の合図で、配付物を確認し、過不足があれば挙手すること。
5. 解答用台紙 1 枚、制作意図用解答紙 1 枚、描画用解答紙 1 枚、論述用解答紙 2 枚のすべてに受験番号を記入すること。
6. 解答用台紙と描画用解答紙を取り違えないように注意すること。
7. 制作意図用解答紙と論述用解答紙を取り違えないように注意すること。
8. 問題冊子、及び下書き用紙などの配付物は持ち帰らないこと。

令和 8(2026)年度 総合型選抜Ⅱ
芸術工学部 芸術工学科 メディアデザインコース

実 技

問題 1

あなたが考える「拡散と統制」をテーマに、ケント紙（B4判）を用いて、立体作品として解答用台紙の上に構成しなさい。また、この立体作品の制作意図について、制作意図用解答紙 1 枚に 100 字以内で説明しなさい。

問題 2

問題 1 で制作した立体作品を観察し、空間性に留意して、描画用解答紙(A3判)にデッサンしなさい。〈注意事項〉制作問題は、配布物のみ使用可とする。

問題 3

以下の問いについて、論述用解答紙 2 枚に 800 字以内で論じなさい。

「情報依存社会において、メディアデザインはどうあるべきか？」

〈注意事項〉横書きで書くこと。

《 制作用配付物 》

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 鉛筆 | 2 本(2B、3B 各 1 本) |
| 2. 消しゴム | 1 個 |
| 3. 鉛筆削り | 1 個 |
| 4. 制作材料(立体作品用) | |
| ・ケント紙(B4 判) | 5 枚 |
| ・木工用接着剤 | 1 個 |
| ・瞬間接着剤 | 1 個 |
| 5. 定規 | 1 本 |
| 6. はさみ | 1 本 |
| 7. カッターナイフ | 1 本 |
| 8. カッターナイフ台 | 1 枚 |
| 9. 下書き用紙(上質紙・B4 判) | 1 枚 |

令和 8(2026)年度 総合型選抜Ⅱ
芸術工学部 芸術工学科 メディアデザインコース

受 験 番 号

実技

制作意図用解答紙
(1枚)

問題 1 立体作品の制作意図について 100 字以内で説明しなさい。〈注意事項〉横書きで書くこと。

100 字

